

2025年11月17日
イオンフィナンシャルサービス株式会社

フィッシングに関する注意喚起を実施 ～国内カード会社10社共同取り組み～

イオンフィナンシャルサービス株式会社（代表取締役社長：深山友晴、以下、当社は、日本クレジットカード協会（以下、JCCA）と国内クレジットカード会社各社と連携し、メールや SMS（ショートメッセージサービス）を悪用したフィッシング詐欺の防止に向けた注意喚起を、2025年11月17日（月）から開始します。

【背景】

2024年のクレジットカード不正利用被害額は約555億円（前年比+14億円）で、過去最大の被害額となりました。特に番号盗用による非対面取引での不正利用被害額は全体の約93%を占めており、その中でもフィッシングによる被害が拡大しています。フィッシングとは偽のウェブサイトやメールを通じて個人情報やクレジットカード番号を詐取する手口であり、年々その手法は巧妙化しています。一方で、日常的に注意を払うことで被害を防ぐことができる場合も少なくありません。安全にクレジットカードをご利用いただくためには、利用者一人ひとりの意識向上が重要です。そのため、国内のクレジットカード会社10社と JCCA でクレジットカード利用者へフィッシングに関する注意喚起を実施いたします。



【取り組み概要】

国内クレジットカード会社10社のクレジットカードをご利用のお客さまに、2025年11月17日（月）からフィッシングに関する注意喚起のメールを送信。加えて、各社ホームページやクレジットカード会員サイトに、フィッシングに関する特設ページやバナーを設置する等の注意喚起を行います。JCCA のキャンペーン特設サイトは以下をご参照ください。

<https://www.jcca-office.gr.jp/feature/phishing/>

当社ではお客さまに安心してご利用いただくために、本人認証サービス（3Dセキュア）の導入や24時間365日の異常検知モニタリングなど最新のセキュリティ体制を構築しています。加えて、当社から配信するイオンマークのカードに関するメールへのお客さま氏名の記載や、カードご利用時、過去の不正利用パターンと類似したご利用分や第三者利用の可能性がある場合にはお取引を一時的に制限させていただき取り組みを実施しております。

今後も継続的なセキュリティ強化に努めるとともに、被害防止や犯罪撲滅に向けて警察当局や業界団体などと連携を深めてまいります。

【イオンカードのセキュリティ対策】

お客さまにより安全にイオンマークのカードをご利用いただけるよう「安心・安全な機能」や「もしもの時のサービス」を提供しております。詳細は、暮らしのマナーサイトのセキュリティ関連ページをご参照ください。

<https://www.aeon.co.jp/security/>

以上